

学位論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 第 号		
所属	保健学専攻 生涯保健学 分野 成人保健学 領域	氏名	太田 佳織
学位論文題目	Effect of sudden unexpected mechanical perturbation training aimed at the primary prevention of inversion ankle sprain on reactivensness of ankle movement and control activity in normal young adults		
論文審査担当者	主査 百瀬 公人 副査 横川 吉晴、木村 貞治		
(学位論文審査の結果の要旨)			
<p>本研究は内反捻挫予防における、突発的・定量的・機械的・外乱刺激を利用してトレーニングを行うことが、中枢に及ぼす影響を機能的近赤外線分光装置を用いて皮質活動を傘下ヘモグロビンの濃度変化としてとらえるとともに、末梢に及ぼす影響を長腓骨筋の表面筋電図からの最大振幅反応時間および足関節をもとに戻すまでの時間としてとらえて明らかにした研究である。</p> <p>内反捻挫予防に関する今までのトレーニング方法には予測できてしまうことなどの不備があり、トレーニング効果を最大にもたらさない可能性があったが、本研究において開発した機械的外乱発生装置は今までの欠点を解消した装置である。</p> <p>この装置を用いて、トレーニングを行うとともに、足関節をもとの位置に戻すまでの反応時間を計測できることから、評価にも利用して介入効果を明らかにしている。今後は、健常者のみならず、スポーツを実際に行っているものの1次予防や3次予防のトレーニング機器として利用する発展性が考えられる。また、高齢者の反応時間の改善を含めた練習機器としての応用性もあると考えられる。</p> <p>この研究の研究計画は十分に準備されており、また、倫理に対する配慮も十分されていた。さらに、得られたデータの処理および統計学的手法には問題が無かった。また、結果の解釈においても論理性が十分にあり、問題が無かった。</p> <p>今後、臨床応用が考えられる価値のある研究であり博士論文に値すると考えられる。</p> <p>以上のことから、本論文は博士論文としての十分な内容と非常に高いレベルの成果を示しており、優秀であると評価できる。</p> <p>以上のように、主査、副査は一致して本論文を学位論文として価値があるものと認めた。</p>			